



～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

## 7月は“社会を明るくする運動”月間

### 上十三地区保護司会十和田支部の活動を紹介します

☎上十三地区保護司会十和田支部・横田 ☎24-1575

#### ■ 保護司の仕事

犯罪や非行に陥った人たちの立ち直りを支えることは、国や地域社会の重要な役割です。また、社会に犯罪や非行がなくなるように地域の環境づくりを行うことも大事な仕事です。

保護司は、人を立ち直りに導いたり、犯罪や非行のない明るい社会づくりのため活動をしたり、地域でのボランティア活動を行っています。

近年の犯罪や非行の状況は深刻さを増していますが、保護司はこのような人たちと正面から向き合い、彼らが向かう更生の道に寄り添い、その熱意と思いやりによって、多くの人たちが立ち直りを果たしています。

#### ■ 保護司の現状

※人数は令和4年4月1日現在

上十三地区(十和田市、三沢市、おいらせ町、六戸町)の保護司は、定数52人に対し41人(充足率79%)と不足している状況にあります。また、本市に保護司は17人いますが、年齢基準による退任などにより、今後保護司不足の加速が懸念されています。

#### ■ 小さな“あかり”に

保護司は民間のボランティアですが、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員であり、やりがいのある仕事です。明るい社会を築くため、あなたのキャリアを生かして保護司として活動してみませんか。



上十三地区保護司会十和田支部の皆さん

#### 「社会を明るくする運動」

全ての国民が犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

毎年7月に、内閣総理大臣と県知事のメッセージを市長に伝達しています。

#### 更生保護のマスコットキャラクター



ホゴちゃん サラちゃん

「更生ペンギン」

チャームポイントは  
胸の「生きるマーク」

保護司として活動している横田さんにインタビューし、保護司について伺いました



上十三地区保護司会十和田支部 支部長 横田 信行 さん

#### 保護司になったきっかけを教えてください

定年退職の2年程前から、当時の職場の先輩に勧められ、定年退職後、62歳のときに保護司になりました。

#### 保護司になる前から保護司について知っていましたか

保護観察の人の更生を促すという話は聞いていましたが、活動の内容までは知らなかったのので、何をするのだろうと思っていました。

#### 活動の様子を教えてください

保護観察所から打診が来て担当になると、まずは対象者宅に「往訪」し、その後自宅に「来訪」してもらいます。月2～3回の「来訪」を保護観察期間が終わるまで続け、保護観察所への報告をしながら立ち直りを促します。

#### 実際に保護司になってみてどうでしたか

リスク的な面を考えると、怖いと感じるときや家族の負担もありましたが、地道に対応するのみと考えるようになりました。

#### 保護司の仕事を通して心に残っていることはありますか

刑務所内の生活を実際に見る研修があり、受刑者との会話などはできませんでしたが、肌で感じた刑務所内の雰囲気を感じています。

#### 保護司になって地域との関わり合いは変わりましたか

保護司は限られた期間でしか対応できず、その後は地域の中で見守っていくことが大切となるため、地域とのコミュニケーションの重要性を感じています。

#### 保護司になろうか悩んでいる人にメッセージをください

これまで培った経験を生かして、ぜひとも一緒に活動していただきたいです。当地区は保護司が足りない状況ですので、気軽に連絡をいただければ幸いです。